

介護医療連携推進会議実施報告書

令和 6年 3月 26日

事業所名	定期巡回池上長寿園24	サービスの種類	定期巡回随時訪問型介護看護
電話番号	(6410) 5711	報告者 職・氏名	管理者
開催日時	令和 6年 3月 22日(金) 15:00 ~ 16:00		
開催場所	特別養護老人ホーム 2F 多目的室		
出席者 11人	(内訳)		
	(地域代表)久が原自治会会長 久が原地区民生委員・児童協議会会長		
	(区・地域包括支援センター) 大田区地域包括支援センター嶺町職員1名		
	大田区地域包括支援センター上池台職員1名		
	大田区地域包括支援センター久が原職員1名		
	(訪問看護ステーション)訪問看護事業所職員2名		
(事務局)在宅事業担当課長 池上事業部門統括事業所長 定期巡回職員2名			

◆活動報告・活動計画

別紙「活動報告書」のとおり。

◆活動報告・計画に対する評価

(自治会長より質問)利用者人数について問い合わせあり。
 (定期巡回職員)月の利用者と年での利用者と定期巡回池上長寿園24の月の利用者目標(15名)報告。
 24名/年 うち13名は入れ替わりあった。入れ替わりの例として末期がんで1日で終了するケースを紹介。
 また、退院待ちで契約を進めている内に状態が悪化し利用キャンセル事例が多い事を紹介。
 利用例については(1)日中独居・(2)老々介護が多く、サービスについては・排泄介助・食事の配下膳
 ・生活援助が多い事を報告。
 (在宅事業担当課長より)10月実施定期巡回・デイサービス・ショートステイ連携型在宅支援プロジェクト
 について大田区が実施したアンケートで「最期をどこで迎えたいか」と言う問いに「自宅」と答えた人が
 約57%、「病院」が約30%弱との答えで半数以上が在宅での最期を望んでいる事が分かった。
 長寿園として在宅生活を長く支える為の取り組みとして活動を開始している。
 (定期巡回職員)マンパワーが足りず、新規依頼があってもなかなか受け入れが出来ない状況がある。
 他事業所等の事業所様に協力事業所として契約をして頂き人手を増やして対応している。
 (在宅事業担当課長より)定期巡回サービスは在宅生活を支える為に絶対に必要なサービスである。
 使い方次第では在宅を生活を支える良い形になって行き定期巡回サービスが増えれば
 特養に入らなくても生活出来ていこうと考えている。

◆事業所に対する要望・意見

(訪問看護事業所より)
 ベットから落ちてしまう事がありその様な緊急時に訪問看護利用したいとの話があったがその様な
 案件は訪問看護ではなく定期巡回サービスだと思い提案したが料金が高く無くなった事があった。
 ・夜間のポータブルトイレ使用介助の例で利用者から夜起きると寝れなくなるとの事でサービスが
 中止になった例があるが定期巡回池上長寿園24ではどうかとの質問
 ・食事介助など時間が掛かるサービスはどの様に対応しているか

◆ご意見に対する返答

(定期巡回職員)

夜間のトイレについて定期巡回池上長寿園24でもその様な例はある。

現在は日中に多めにサービスに入ったりまたパットなど高性能な排泄物品をご提案している。

夜間はなるべく睡眠をとって頂く様に対応をしている。

食事介助についてはADLの低下がみられる事が多く時間を掛けて介助するのは重要。

しかし時間を掛けすぎても利用者様の疲労感が増してしまう為

定期巡回池上長寿園24としては介助時間はおおむね15分から20分と時間を決めて対応している。

またDr.と相談しエンシュア等の高カロリー食なども積極的に提案し介助に工夫をしている。

さらに同法人のデイサービスをご利用頂いている場合には「このようにすれば食べれた」などの情報共有を行っている。Dr.や看護師等の他職種へアドバイスを求めたり、情報共有を行っている。

(在宅事業担当課長より)ご自身のご家族の例を紹介

定期巡回サービスは短時間で実施するサービスな為、ご自身で出来る所は了解を得て

やって頂く事がある。その為、結果的にご自身の持っている能力を維持する事に繋がり

その面でも良いサービスとなっている。

補足説明:(在宅事業担当課長より)

弊事業所としてキャパシティが一杯で案件をお受けできない場合は他の定期巡回サービスをご紹介させて頂いている。

定期巡回池上長寿園24としてルートを増やす努力を行っているがまだ上手く対処出来ない。

協力事業所にお手伝い頂きながら15名のご利用者様を目途に運営している。

また、定期巡回サービスは短時間のサービスがメインであるが食事介助等の時間の掛かるサービスはお受けできない訳では無く相談させて頂きサービスに繋げる様にしていきたいと考えている。

(在宅事業担当課長より)

横浜や埼玉の事例の様に定期巡回サービスの事業が増えていけばご利用者様も増えるので狭いエリアで巡回サービスが出来ご利用者様があふれずに済む。

大田区はエリアが広い為定期巡回サービスの事業所を増やすメリットはある。

その為、基盤の整備を大田区と一緒に実施していく必要がある。

◆事業所に対する要望・意見

(訪問看護事業所より)

1包括1事業所は出来ないのか

◆ご意見に対する返答

(在宅事業担当課長より)

先発事業所として新しくできる開設される事業所には長寿園として情報提供を行い

新規事業所の増加に協力している。

◆地域・行政等からの情報提供

(訪問看護事業所より情報提供)

最後まで在宅生活を続ける為にもこの様なサービスは無くしてはならないサービスと感じる。

『キャンナス(全国訪問ボランティアナースの会)』等の保険では出来ないサービスを提供している。

チームとして看取っていくことが大事だと思う。

(在宅事業担当課長より)

在宅生活を今後維持していく為にも介護保険サービスは定期巡回サービス+随時でキャンナスの様なサービスを使う事でご利用者にもご家族にも良いサービスの組み合わせが大事である。